



本県参加者

「晴れの国おかやま」と言われるとおりの晴れやかな秋空のもと、十一月五日午前十時半から岡山県総合グラウンド体育館「桃太郎アリーナ」において、第十五回全国女性消防団員活性化岡山大会が開催され、本県から畠山副会長はじめ十名が参加した。

全国の女性消防団員が一堂に会し、取り組みや活動についての情報交換をし、今後の活動をより活性化させ、安心安全な暮らしの推進に貢献することを目的に、毎年各都道府県で開催され



第十五回全国女性消防団員活性化岡山大会

題 字
初代会長 松野 盛吉
定 価 1部 5円
(購読料は年会費に含む)
発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 中泉 松之助
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
E-mail:ask@biscuit.ocn.ne.jp
印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760

ており、今回約三千人が参加した。開会宣言の後、主催者である片山日本消防協会会長が「安心・安全に百点満点はなく、しっかり対応するためには消防団を増強するなど地域消防力・地域防災力の強化が不可欠。女性団員の増加は消防団に潤いを与えるだけでなく、住民にとって消防を身近なものにする。誇りを持って奮闘していただきたい」と挨拶、大会実行委員長である石井岡山県知事が「自然災害に対して消防団の存在が重要視されており、女性消防団員の増員や組織率向上は心強い。消防団活動の活性化、地域の安全安心の確保に向けて活躍を期待する」と挨拶し、開催地岡山市の高谷市長が歓迎の挨拶、河野消防庁長官が来賓祝辞を述べた。



坂本龍馬とお龍さんの寸劇

では「女性消防団の更なる飛躍と改革」「団結!!おにぎり六、〇〇〇個」「救命のドレミ 対馬から全国へ」「絆く全国女性消防団操法大会を経て」と題し、山火事での長期にわたる消火活動を、具材や味付けを変え飽きないように工夫したおにぎりで支えたことや、出場する全国女性消防団法大会目前に妊娠が発覚したが、周囲の理解と計らいにより、仲間との絆をより一層深めたことなど、女性団員ならではの視点で、これまでの活動とこれからの取り組み、今後の消防団のあり方などについて発表した。

続いて、日本をこよなく愛し消防応援団でもある、マルチタレントのダニエル・カール氏による「ガンバッテ! オラの大好きな日本」と題しての記念講演が行われた。

流暢な日本語と漢字、そしてトレードマークの山形弁を駆使して、方言・食文化・宗教など「vater」(バラエティー)に富んだ日本の文化についてユーモラスに語り「謙遜も美德だが、日本の良いところをもっと見直して元気を出してほしい」とエールを送った。

火災予防啓発劇では、高知県高知市介良・大津分団が、坂本龍馬とお龍さんのコント仕立てで地震時の災害用伝言ダイヤルについて、三重県名張市消

防団が、三人の女性消防団員扮するロ―カルヒーロー「119団 アンシンダー」による軽快な踊りで消防団活動をアピールした。

また、岡山県岡山市消防団は、幼稚園での救急救命講習にフィリピン人の母親が参加した際、英語で対応した実話をもとに、英語のパネルフレット作成に至った経緯をコミカルに演じた。

パネルディスプレイでは、「これからの女性消防団員の活躍・在り方について」と題し、五人のパネリストがそれぞれの活動状況を報告した後、会場と双方向で意見交換がなされた。

この後、大会旗は岡山県から次回開催地奈良県へと引き継がれ、大会は幕を閉じた。



地域の安心おまかせ「119団 アンシンダー」

平成二十一年度全国統一防火標語
『消えるまで
ゆっくり火の元
にらめっ子』

- 本県の参加者は次の方々
- 能代市消防団 信太 和子
 - 秋田市消防団 渡辺美紀子
 - 横手市平鹿消防団 佐藤みちよ
 - 横手市平鹿消防団 原 ヨシミ
 - 横手市平鹿消防団 大和谷道子
 - 横手市平鹿消防団 堀田 弘子
 - 横手市平鹿消防団 高橋ノブ子



次回開催地は、いにしへの都 奈良

平成二十一年秋の叙勲・褒章 第十三回 危険業務従事者叙勲伝達式

永年の消防功勞による平成二十一年秋の叙勲・褒章及び第十三回危険業務従事者叙勲の受章者が十一月三日に発令され、十一月五日十三時三十分から秋田県正庁において佐竹知事より伝達された。

また、秋の叙勲受章者は十一月十一日二ツシヨールホールにて、第十三回危険業務従事者叙勲受章者は十一月六日日比谷公会堂にて、秋の褒章受章者は十一月十六日ルポール麹町にて、それぞれ消防庁長官から伝達が行われた後、皇居において拝謁が行われた。

受章者の皆様、誠におめでとうございませう。

秋の叙勲

瑞宝小綬章(一名)

元 大曲仙北広域市町村圏組合
消防正監 山崎 敏彦

瑞宝双光章(三名)

元 鳥海町消防団

元 仁賀保地区消防団

元 三種町消防団

元 瑞宝単光章(十八名)

元 大館市田代消防団

元 羽後町消防団

元 平鹿町消防団

副団長 小松田 孝士

副団長 阿部 義右衛門

副団長 佐藤 禮造

副団長 藤 一男

副団長 石井 喜美彦

元 雄勝町消防団
副団長 村田 覺治

元 大森町消防団
副団長 伊藤 金作

元 雄勝町消防団
分団長 町田 長右衛門

元 秋田市消防団
分団長 滝 由太郎

元 能代市消防団
分団長 野村 幸作

元 秋田市消防団
分団長 鎌田 三知雄

元 能代市消防団
分団長 幸坂 十郎

元 大館市消防団
分団長 成田 久隆

元 仁賀保地区消防団
分団長 相庭 鉄男

元 横手市消防団
分団長 藤井 喜一

元 千畑町消防団
分団長 戸澤 良清

元 男鹿市消防団
分団長 高橋 武

元 小坂町消防団
分団長 小笠原 吉孝

元 南外村消防団
副分団長 佐藤 與市

元 南外村消防団
副分団長 伊藤 誠

第十三回危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章(八名)

元 本荘地区消防事務組合

元 横手平鹿広域市町村圏組合

元 湯沢雄勝広域市町村圏組合

消防監 柴田 勝朗

消防監 齋藤 完

消防監 齋藤 完

元 湯沢雄勝広域市町村圏組合
消防監 藤田 克昭

元 大館周辺広域市町村圏組合
消防監 成田 正市

元 本荘地区消防事務組合
消防司令長 土屋 征助

元 大曲仙北広域市町村圏組合
消防司令長 佐々木 賢三

元 横手平鹿広域市町村圏組合
消防司令長 山中 貞男

秋の褒章

藍綬褒章(二名)

現 大瀧村消防団

現 仙北市消防団

副団長 高山 藤悦

副団長 高橋 重男

第五回 消防団員 意見発表会(四)



足利 幸雄

・秋田市消防団
分団長

・勤続三十二年

・会社員

「地域消防のあり方と水防大会について」

平成二十一年五月三〇日、東北六県の水防団で競われる「東北水防技術競技大会」が青森県五所川原市で開催され、我が河辺分団が出場しました。

河辺分団の管内には岩見川と雄物川が流れており、小さな頃から川と親しんできた私たちにとって、水防訓練にかける思いは誰にも負けません。

新年度が始まると直ちに出場隊員三

〇人を選抜し、訓練に訓練を重ね、そして迎えた大会前日、五所川原市の岩木川河川敷の下見を終え、隊員たちと一杯やりながら明日の勝利を誓い合いました。「くれぐれも二日酔いにはならないように」と隊員に声をかけ、布団に入りました。

大会当日、出場隊員の自信に満ちあふれた顔つき、行動の一挙手一投足に、私は勝利を確信しました。結果は、予想どおり「第一位」でした。出場隊員の「うわー」という歓声が響きわたる中で、私は、「今までの努力が報われたんだな、消防団に入って本当に良かったな」と思い、目頭が熱くなったのを覚えています。

私が消防団に入ったのは、今から三年前です。消防操法大会の時期になると、朝五時、眠い目をこすりながら「オッス、オッス」と団員たちが集まり、必死に訓練をしました。団員のほとんどが同じ町内の若者で構成され、消防操法大会終了後の一杯飲みもとても重要な交流の場で、親から子へ、子から孫へと引き継がれてきて今日に至っています。また私たち団員は町内での各種行事、青年会活動、野球大会などでも常に先頭になって盛り上げていたものでした。

しかしながら、最近の消防団に若者が減少していると感じているのは、私だけではないはずで、以前、私が部長の頃に、三重県からお嬢さんに来た若者がいました。若者はすぐに町内の同世代と意気投合し、消防団に入りたいと私の所にやってきました。十年経った今年、長引く不況でリストラにあり、若者は三重県に帰ることにになりました。秋田にとどまってほしいとは思いましたが、秋田で仕事が無くなり、家族を養うためには三重に帰るしか方法が無いとのこと。私にはどうするこ

ともできませんでした。百年に一度と言われる不況の中で、会社に勤めながら消防団活動を行うことはとても困難になりました。こんな時代だからこそ、不況に負けない、明るい町を目指して、消防団員が先に立って動かなくてはなりません。

地域に「消防団」は無くしてはならないものです。今こそ私たち消防団員が地域の垣根を越え、秋田県一つにまとまるべきではないのでしょうか。



那須 勝弘

由利本荘市消防団
副支団長
・ 勤続三五年
・ 自営業

「災害と訓練」

私の所属する消防団は、平成一七年三月二二日、一市七町が合併し、旧岩城町消防団が由利本荘市消防団岩城支団と改名されました。

当岩城支団の団員数は、定員一八〇名に対し、現在一七四名と九六パーセントを確保しているところであり、地元の働き場が減少することもあり、日中人口は大幅に減少する状況にあります。消防団員も全く同じ状況で、夜間の災害時にはある程度分団員は確保ができませんが、日中の災害については、他の分団と協力しなければ消防活動ができない状況にあります。折角運搬してきた消防機材が使われることなく、ただ災害現場に置かれても何も多々見受けられませんし、その一方では、消火活動中の防火用水利の水位が下がり放水維持が危ぶまれ、後続補給部隊の早期到着が待たれることもあります。

そこで、私が日頃から感じていることをお話しさせていただきます。毎今の時期は、各市町村の消防団は、競技大会に向けての操法訓練にかなり忙しく立ち向かっていることと思います。訓練は有事の際の基礎であり、技術を習得するための最も大事なものと考えておりますが、最近、訓練で習得した技術を応用しての臨機応変な実践対応が必要ではないかと考えているところでもあります。

それは、火災発生現場ではポンプによる送水及び放水が行われる訳ですが、その時、訓練で学んだ「送水圧力は四キロ以下」という決まり事にこだわりがあるように思われます。

先日、本荘消防署岩城分署にホースの延長本数と高低差に伴う圧力損失につきましてお尋ねしたところ、平坦送水では延長ホース一本目については〇%ですが、六本結合で、一〇パーセント、一〇本結合で三〇パーセント近い圧力損失が発生するとするデータがあるとの回答が得られました。

高低差による圧力損失については直高差と勾配差があるため、圧力損失については一言では表現できないとのことですが、どちらにしても圧力損失は発生すると御指導頂きました。いづれにしても、水量が不足しては火災現場で大きな影響が発生することとなります。ポンプ操作員には延長ホースの本数による圧力損失と高低差による圧力損失を考慮するよう、現場で筒先とポンプ間の伝令を駆使した操作の指導ができていなかったことに対し、反省しているところであります。

これまで述べさせて頂きましたことについては、今後、当岩城地域においては、防災訓練等を活用しながら、問題点の解明に努力し、若い団員を中心にしてお互い協力しあい、地域住民の

災害予防、安全で安心して生活できる自然豊かな町を後世に引き継ぐため、残された任期を微力ながらも努力してまいる所存であります。



鳥羽 武治

大仙市消防団
支団長
・ 勤続四〇年
・ 左官業

「小学校の時の大火」

昭和二八年五月七日。今も忘れません。私が小学校三年生の時、その日は刈野浮嶋神社祭典の前日でした。余興の舞台や出店などが並び、私たちは浮き浮きした気分で行き回って遊んでいたら、突然、空が真っ黒になり煙が上がっていききました。「火事だ、火事だ」と叫んでバケツを叩く人もいました。今までのない町の大火で八七戸が全焼したそうです。私の家の一軒隣まで焼けてしまいました。

そんな大火があった翌年、四年生になった私たちは、当番で二階の教室を掃除していたら、「火事だ」との叫び声。みんな一斉に一階に駆け下りましたが、途中力パンを忘れたのに気付いた私は、急遽二階に引き返し玄関まで来たとき、あつという間に階段が崩れ落ちたのです。あの時、一分でも遅かったらと思うと、今でもゾッとします。火災の怖さが頭から離れません。

また、私たちの町は、毎年のように水害も発生します。雄物川の氾濫により田畑は冠水し、国道や町道は通行不能、住家も床下・床上浸水などの被害を蒙ります。私の家も雨が降るたびに水浸しになり、常に危険と向き合っています。とても怖い思いをしました。

私が左官業の修行を終え、家に帰ってきた二三歳の時、仕事仲間から「お前、消防団に入らないか」と言われ、一瞬びっくりしました。小学生だった頃のあの怖い体験が思い出され、その時は直ちに断りました。それから一年、私が結婚し子供も生まれたある日、町内の方から「長男だし仕事していくには、先ず、人との付き合いが大事だ」と誘われ、昭和四一年に消防団に入団しました。

しかし、その後が大変でした。消防大会の訓練は毎日のように続き、私が小型ポンプ操作法に選ばれたこともあって、いつも帰る時間は一〇時を過ぎていました。勿論、一〇時というのは練習が終わってからの飲み会も含めてのことです。その頃は分団員が三〇名以上もいましたので、もう大変な騒ぎでした。こんなに楽しいことがあるのかと思うほどでした。でもそんな楽しいことばかりではありません。いつものように河川は増水し、舟を出しての通行の確保、家々を回って町民の安全を確認することなど、消防団がこんな危険なことまでやっているのかと思ひ、大変な仕事と思うようになりました。

やがて、常設消防が刈野に設置され、小型ポンプ操作法や水防訓練等のご指導を頂き、小型ポンプ操作法では全国大会に出場したこともあり、今では、若い人が少なくなり、団員も減少しました。団員の話聞きますと「会社の仕事は休めないし、休むとクビになるので事業所の方に話してもらえないか」「子供の部活動もあって、なかなか入団できないのでは」といった課題が多く出されます。それでも一人でも多く入団するようお願いしているところですが、皆さんの地域ではどのような活動をしているのでしょうか。良い案があれば教えて下さい。

支部情報アラカルト

総合防災訓練実施

男鹿潟上南秋支部



バケツリレー

秋の火災予防週間に合わせ十一月五日に大潟村全域において、男鹿潟上南秋支部総合防災訓練が実施され、各防災機関、学校、事業所、福祉施設及び地域住民約四百五十名が参加した。

大潟村を震源とする震度六弱の直下型地震が発生し、その後も余震が断続的に続いて、大潟村内に甚大な被害をもたらしたという想定で、大潟村災害対策本部設置運用訓練、近隣各市町への消防応援要請による消火活動及び火災防ぎよ訓練、地域住民によるバケツリレー初期消火訓練、災害ボランティア受け入れ訓練、地域住民が重機を使用し、倒壊家屋屋根の撤去と要救助者の救出訓練などが行われ、有事の際の対応を確認した。



倒壊家屋からの救出

男鹿地区消防一部事務組合消防本部

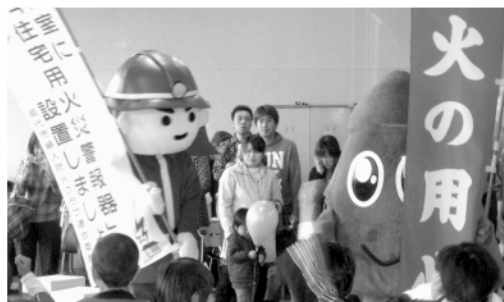
能代消防署で開催した。幼稚園児によるオープニングセレモニーで開幕し、消火体験、煙体験、救助体験、消防車乗車体験など庁舎内外に各コーナーが設けられた。この日、会場には消防イメージキャラクター「消太」「スギッチ」と秋田県のマスコットキャラクター「スギッチ」も登場し、多くの親子連れで賑わうとともに防火意識を高めた。



参加した子供たち

能代山本広域市町村圏組合消防本部

「119消防ふれあい広場」開催
能代市山本郡支部



「消太」「スギッチ」の登場に子供たちも大喜び

能代市本広域市町村圏組合消防本部では、能代市消防団と能代市婦人防火クラブの協力を得て「119消防ふれあい広場」を

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋田県代理店

株式会社 高義商会

(営業種目) トーハツ小型動力ポンプ
モリタ自動車ポンプ
ジェットホース
消防被服全般
火災報知器各種
消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
TEL(0183)(42)2125
〒012-0844 湯沢市田町TEL(0183)(73)2588

株式会社 タカギ

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182)(32)3880

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ | キンパイホース
トーハツポンプ | シパウラポンプ
各種消防機械器具 | 各種消火器
消防設備保守点検

ホームページ <http://www.17.ocn.ne.jp/~takagi/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp

森田ポンプ ラビットポンプ
桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式
各種消火器 消防機器一式

株式会社 協立
株式会社 能代消防センター

〒016-0846 能代市栄町12の3
TEL (0185)(52)6361
(52)6494

地域の防災、災害対策に貢献!



猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 1551(代)
猿田興業ビル7F FAX 018 (824) 3651